

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	卒業研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 火4、水1	教室名	CP室
担 当 教 員	松田貴文 村下慣一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
自ら問題点を見つけ出し、改善提案できる自立性・積極性を養う						
《成績評価の方法と基準》						
グループでの積極参加を評価。 また発表内容、抄録・論文を評価対象とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考引用文献調査						
《授業外における学習方法》						
文献調査と情報収集を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
現場では自ら問題点を挙げ、改善提案できる人材が求められます。この研究でその基礎力を養いましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	グループ・役割分担・研究テーマ決定における流れが理解できる。	特になし	研究テーマに関する情報収集など	
		各コマに おける 授業予定	卒業研究に関するオリエンテーション			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	研究の方向性の設定ができる。	特になし	研究テーマに関する情報収集など	
		各コマに おける 授業予定	研究の進め方について理解するための文献購読など			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	研究目的を設定し、それに応じた先行研究を収集することができる。	特になし	先行研究の収集など	
		各コマに おける 授業予定	先行研究の収集方法を理解するための実習講義			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	研究目的を設定し、それに応じた先行研究を収集することができる。	特になし	先行研究の収集など	
		各コマに おける 授業予定	グループごとの先行研究収集に着手する			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	分析方法・仮説の設定について概要が理解できる。	特になし	先行研究の収集など	
		各コマに おける 授業予定	先行研究を踏まえた分析方法・仮説の設定の手順を理解する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	分析方法・仮説の設定について概要が理解できる。		特になし	先行研究の収集など
	各コマにおける授業予定	先行研究を踏まえて、適切な分析方法・仮説を設定する			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	構想発表会(講義内)に向けた資料作成について概要が理解できる。		特になし	先行研究の収集など
	各コマにおける授業予定	読み上げ原稿の作成			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	構想発表会(講義内)に向けた資料作成について概要が理解できる。		特になし	先行研究の収集など
	各コマにおける授業予定	PPスライドの作成			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	構想発表会(講義内)での報告について概要が理解できる。		特になし	先行研究の収集など
	各コマにおける授業予定	構想発表会(講義内)の実施			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	構想発表会(講義内)の振り返りを通じて概要が理解できる。		特になし	先行研究の収集など
	各コマにおける授業予定	構想発表会(講義内)の振り返り			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	先行研究の収集について概要が理解できる。		特になし	先行研究の収集など
	各コマにおける授業予定	構想発表会における課題を踏まえた文献収集を行う			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	先行研究の収集について概要が理解できる。		特になし	先行研究の収集など
	各コマにおける授業予定	構想発表会における課題を踏まえた文献収集を行う			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	構想発表資料の作成について概要が理解できる。		特になし	先行研究の収集など
	各コマにおける授業予定	構想発表会資料を加筆・修正し、期末提出物の作成に取り組む			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	構想発表資料の作成について概要が理解できる。		特になし	先行研究の収集など
	各コマにおける授業予定	構想発表会資料を加筆・修正し、期末提出物の作成に取り組む			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	期末提出物を完成させ提出できる		特になし	先行研究の収集など
	各コマにおける授業予定	期末提出物を完成させ、当該学期の到達点と次学期に向けた課題整理を行う			

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	卒業研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	PCルーム
担 当 教 員	松田貴文 村下慣一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
自ら問題点を見つけ出し、改善提案できる自立性・積極性を養う						
《成績評価の方法と基準》						
グループでの積極参加を評価。 また発表内容、抄録・論文を評価対象とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考引用文献調査						
《授業外における学習方法》						
文献調査を行い、情報収集を行う						
《履修に当たっての留意点》						
問題発見能力を高めるため、問題点に着目する力を養って下さい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	夏季休暇課題の提出を行い、今後の研究スケジュールの流れを理解できる。	特になし	夏季休暇課題の作成	
		各コマに おける 授業予定	夏季休暇課題の提出			
第 17 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	章構成、主要文献を確定することができる。	特になし	先行研究の検討など	
		各コマに おける 授業予定	先行研究を踏まえて、適切な分析方法・仮説を確定する			
第 18 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	先行研究について概要を理解することができる。	特になし	先行研究の検討など	
		各コマに おける 授業予定	先行研究を検討し、適切に引用しながら執筆する			
第 19 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	先行研究について概要を理解することができる。	特になし	先行研究の検討など	
		各コマに おける 授業予定	先行研究を検討し、適切に引用しながら執筆する			
第 20 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	先行研究について概要を理解することができる。	特になし	先行研究の検討など	
		各コマに おける 授業予定	先行研究を検討し、適切に引用しながら執筆する			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義を通じての到達目標	各章の先行研究の検討を終えることができる。	特になし	正しい日本語(文語)を書くための訓練など
	各コマにおける授業予定	先行研究を検討し、適切に引用しながら執筆する		
第22回	講義を通じての到達目標	各章の解釈の執筆をすることができる。	特になし	正しい日本語(文語)を書くための訓練など
	各コマにおける授業予定	先行研究に基づき、論理的に適切な文章で、解釈を執筆する		
第23回	講義を通じての到達目標	各章の解釈の執筆をすることができる。	特になし	正しい日本語(文語)を書くための訓練など
	各コマにおける授業予定	先行研究に基づき、論理的に適切な文章で、解釈を執筆する		
第24回	講義を通じての到達目標	各章の解釈の執筆をすることができる。	特になし	正しい日本語(文語)を書くための訓練など
	各コマにおける授業予定	先行研究に基づき、論理的に適切な文章で、解釈を執筆する		
第25回	講義を通じての到達目標	各章の解釈の執筆をすることができる。	特になし	正しい日本語(文語)を書くための訓練など
	各コマにおける授業予定	先行研究に基づき、論理的に適切な文章で、解釈を執筆する		
第26回	講義を通じての到達目標	既定字数の執筆完了=初稿が完成できる。	特になし	正しい日本語(文語)を書くための訓練など
	各コマにおける授業予定	所定のフォーマットを使用し、卒業論文で課された規定字数以上の執筆し、校閲を受ける		
第27回	講義を通じての到達目標	初稿の修正を行い、ブラッシュアップができる。	特になし	正しい日本語(文語)を書くための訓練など
	各コマにおける授業予定	完成した初稿をブラッシュアップする		
第28回	講義を通じての到達目標	初稿の修正を行い、ブラッシュアップができる。	特になし	正しい日本語(文語)を書くための訓練など
	各コマにおける授業予定	完成した初稿をブラッシュアップする		
第29回	講義を通じての到達目標	初稿の修正を行い、ブラッシュアップができる。	特になし	正しい日本語(文語)を書くための訓練など
	各コマにおける授業予定	完成した初稿をブラッシュアップする		
第30回	講義を通じての到達目標	最終稿の提出することができる。	特になし	正しい日本語(文語)を書くための訓練など
	各コマにおける授業予定	最終稿を提出する		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	卒業研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	PCルーム
担 当 教 員	松田貴文 村下慣一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
自ら問題点を見つけ出し、改善提案できる自立性・積極性を養う						
《成績評価の方法と基準》						
グループでの積極参加を評価。 また発表内容、抄録・論文を評価対象とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考引用文献調査						
《授業外における学習方法》						
文献調査を行い、情報収集を行う						
《履修に当たっての留意点》						
問題発見能力を高めるため、問題点に着目する力を養って下さい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 31 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	下記発表データを作成することができる。	参考資料	参考文献調査	
		各コマに おける 授業予定	研究の背景を最終作成し完成させる。			
第 32 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	下記発表データを作成することができる。	参考資料	参考文献調査	
		各コマに おける 授業予定	研究の目的を最終作成し完成させる。			
第 33 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	下記発表データを作成することができる。	参考資料	参考文献調査	
		各コマに おける 授業予定	研究手法を最終作成し完成させる。			
第 34 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	下記発表データを作成することができる。	参考資料	参考文献調査	
		各コマに おける 授業予定	研究結果を最終作成し完成させる。			
第 35 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	下記発表データを作成することができる。	参考資料	参考文献調査	
		各コマに おける 授業予定	研究の考察を最終作成し完成させる。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 抄録のフォーマットを整えることができる。	参考資料	参考文献調査
	各コマにおける授業予定	抄録データを作成する ①		
第37回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 簡潔に「背景」「目的」「要約」をまとめることができる。	参考資料	参考文献調査
	各コマにおける授業予定	抄録データを作成する ②		
第38回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 簡潔に「研究手法」「結果」「考察」をまとめることができる。	参考資料	参考文献調査
	各コマにおける授業予定	抄録データを作成する ③		
第39回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 論文のフォーマットを整えることができる。	参考資料	参考文献調査
	各コマにおける授業予定	卒業論文を作成する ①		
第40回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 目的・要約を作成することができる。	参考資料	参考文献調査
	各コマにおける授業予定	卒業論文を作成する ②		
第41回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 研究手法についてまとめることができる。	参考資料	参考文献調査
	各コマにおける授業予定	卒業論文を作成する ③		
第42回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 研究結果についてまとめることができる。	参考資料	参考文献調査
	各コマにおける授業予定	卒業論文を作成する ④		
第43回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 深い考察をすることができる。	参考資料	参考文献調査
	各コマにおける授業予定	卒業論文を作成する ⑤		
第44回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 研究の成果をプレゼンテーションすることができる①	参考資料	参考文献調査
	各コマにおける授業予定	まとめの発表を行う ①		
第45回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 研究の成果をプレゼンテーションすることができる②	参考資料	参考文献調査
	各コマにおける授業予定	まとめの発表を行う ②		